

令和５年度 三重大学教育満足度調査 報告書（概要版）

第Ⅰ部 学部生対象

1. 調査目的 三重大学の中期目標を達成するための措置として、令和５年度終了時の学生の満足度の実態を把握し、今後の三重大学の教育改善に資するための基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査概要

- (1) 調査対象 三重大学に在籍する全ての学部生 5,884 名
- (2) 調査時期 令和５年１２月～令和６年１月
- (3) 調査方法 三重大学ウェブ調査システムによる調査
- (4) 分析対象者数 1,600 名 (27.2 %)

本報告書に掲載した集計・分析結果は、所属学部別および、在学年数別に行われたものが多い。そのため、全回答者（1,600 名）のデータより、医学部医学科以外の学科（課程）に所属する学生のうち、在学年数が「５年目」、「６年目」、「それ以上」に該当する回答者のデータは「全学部学生」の分析において分析対象外とした。さらに、所属学部と学科、在学年数が不明な学生のデータを分析対象外とした。以下の表に、分析対象者数を所属学部と所属学科（課程）、在学年数ごとに示す。

表 1 分析対象者数（学部生）

		人文		教育	医		工							生物資源				合計
		文化学科	法律経済学科	学校教育教員	医学科	看護学科	機械工学科	電気電子工学科	分子素材工学科	建築学科	情報工学科	物理工学科	総合工学科	資源循環学科	共生環境学科	生物圏生命化学科	海洋生物資源学科	
在籍年数	1年目	41	52	99	28	74	0	0	0	0	0	0	113	70	65	73	42	657
	2年目	26	37	60	24	33	0	0	0	0	0	0	66	17	20	23	4	310
	3年目	23	35	54	17	8	0	0	0	1	1	0	87	19	26	24	13	308
	4年目	21	28	48	22	11	1	0	0	0	2	0	79	26	23	32	10	303
	5年目	—	—	—	15	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	16
	6年目	—	—	—	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6
小計 (学部ごと)		111	152	261	112	126	1	0	0	1	3	0	346	132	134	152	69	1,600
		263			238		351							487				

3. 結果

三重大大学の教育に関する 43 項目について、平均値と標準偏差、満足群を算出した。

(1) 平均値

満足の度合いを表す 6 段階評定において「非常に不満」を 1 点、「不満」を 2 点、「やや不満」を 3 点、「やや満足」を 4 点、「満足」を 5 点、「非常に満足」を 6 点とし、平均値を算出した。平均値が高いほど満足度が高いことを表している。各項目について学生が経験したことがない場合や知らない場合のために、満足度の 6 段階とは別に「回答できない」という選択肢を設けた。「回答できない」を選択した回答数の算出後は、「回答できない」を欠損値（無回答）と同様に扱った。

(2) 満足群

6 段階評定のうち、「やや満足」もしくは、「満足」、「非常に満足」のいずれかに回答した学生の割合を満足群とした。

3. 1 大学生生活全般についての満足度

すべての項目において平均点が 4（やや満足）を上回っていた。満足群の割合も 90% 超えがほとんどであったが、「学生の意向（授業評価など）が授業に反映されるなど三重大大学の教育を改善しようとする大学の姿勢」の項目のみ下回っていた。

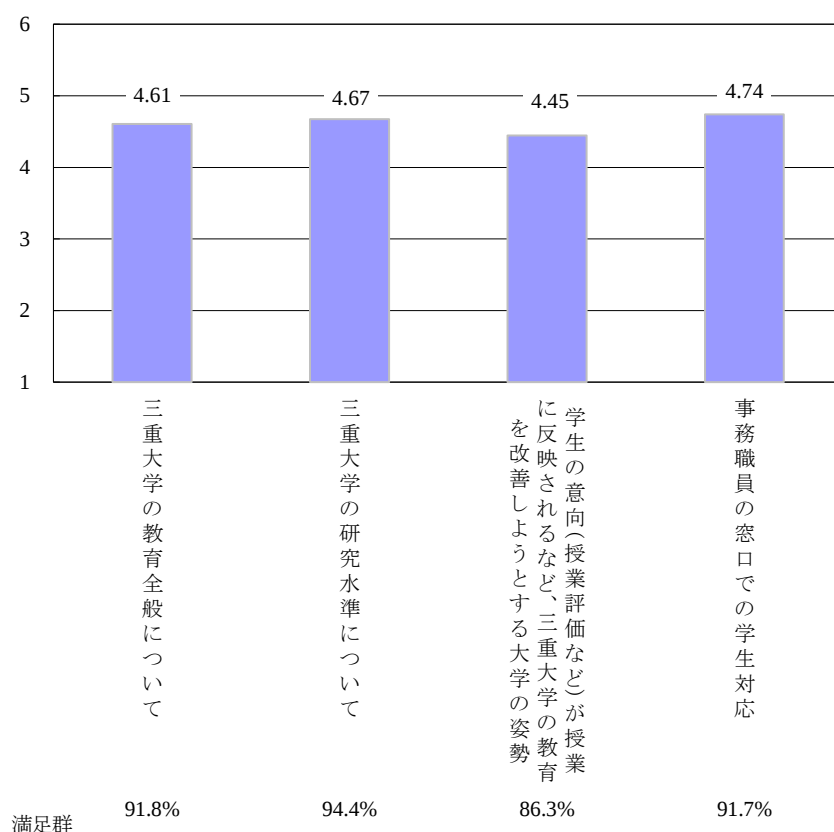


図 1 大学全般についての満足度（学部生）

3. 2 情報提供についての満足度

両項目において平均点は4（やや満足）を上回っていた。しかし、満足群の割合が低かった。これまでの調査においても低い水準を維持していることから、さらなる改善が必要であるといえる。

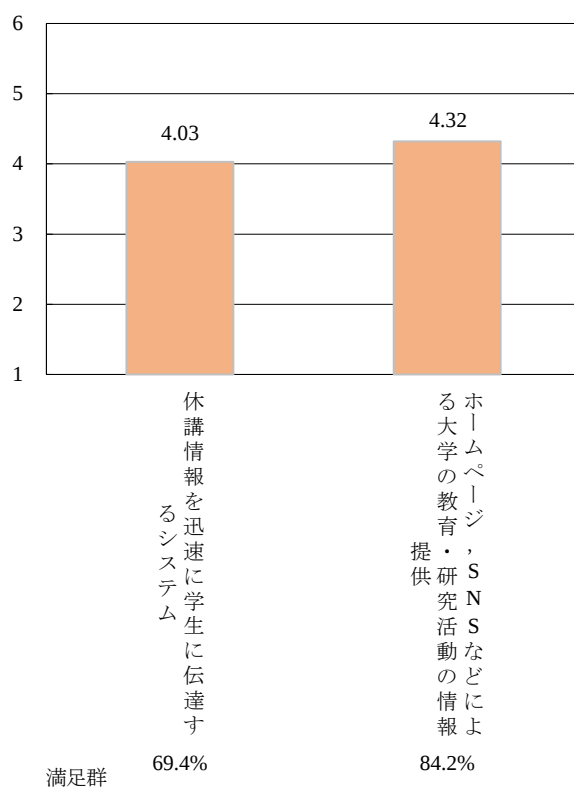


図2 情報提供についての満足度（学部生）

3. 3 学習環境と施設・設備についての満足度

すべての項目において平均点が4（やや満足）を上回っていた。満足群の割合はほとんどが80%を超えていた。

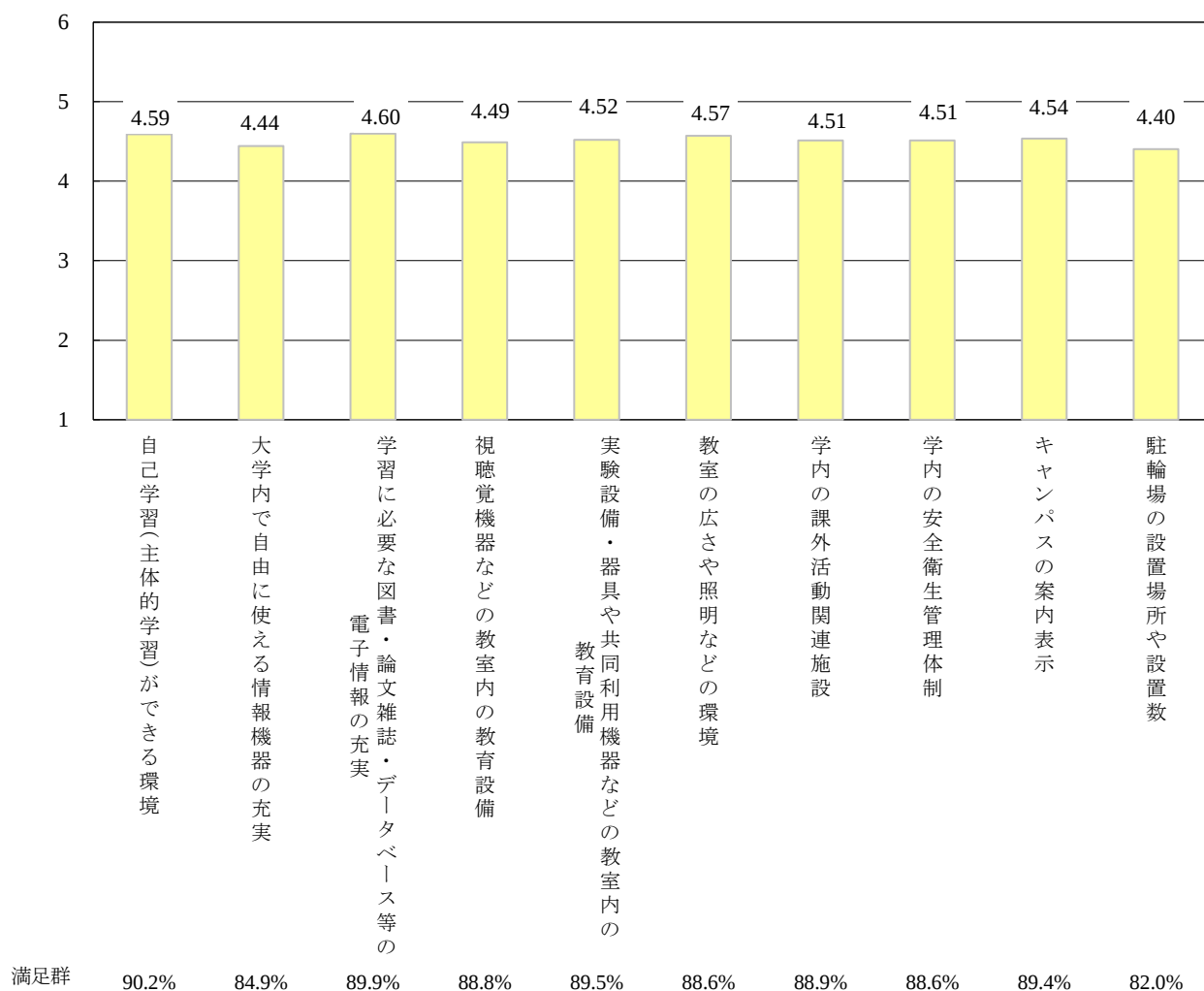


図 3 学習環境についての満足度（学部生）

3. 4 評価・カリキュラムについての満足度

全体的に平均値は4（やや満足）を超えていた。満足群の割合については、「履修計画に役立つ適切なガイダンス」および「シラバスの有用性」の項目が80%を下回った。改善が必要である。

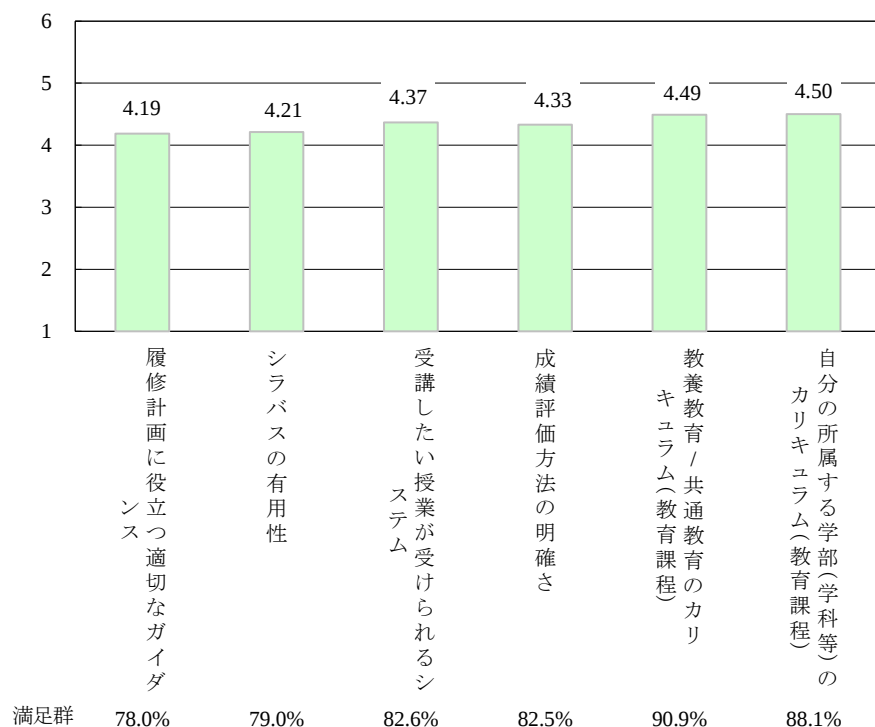


図 4 評価・カリキュラムについての満足度 (学部生)

3. 5 進路支援についての満足度

すべての項目において平均点が4（やや満足）を上回っていた。また、満足群の割合についても、すべての項目で80%を超えていたが、「資格や免許を取得することに対する支援」および「大学院進学に役立つ教育の提供」の項目については割合が低い傾向にあった。

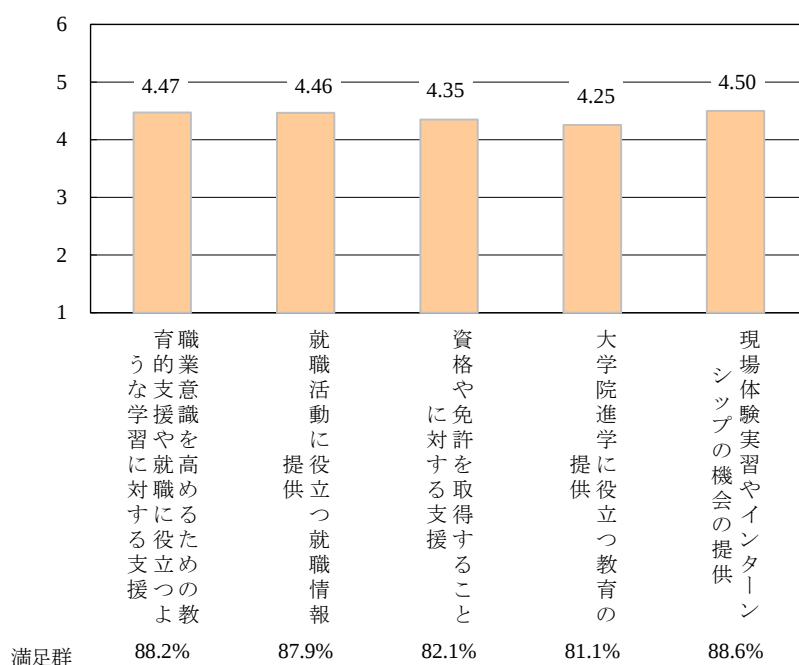


図 5 進路支援についての満足度（学部生）

3. 6 学生サポートについての満足度

すべての項目において平均点が4（やや満足）を上回っていた。満足群の割合については、「休講情報を迅速に学生に伝達するシステム」の項目がかなり低い割合であったため、改善を要する。

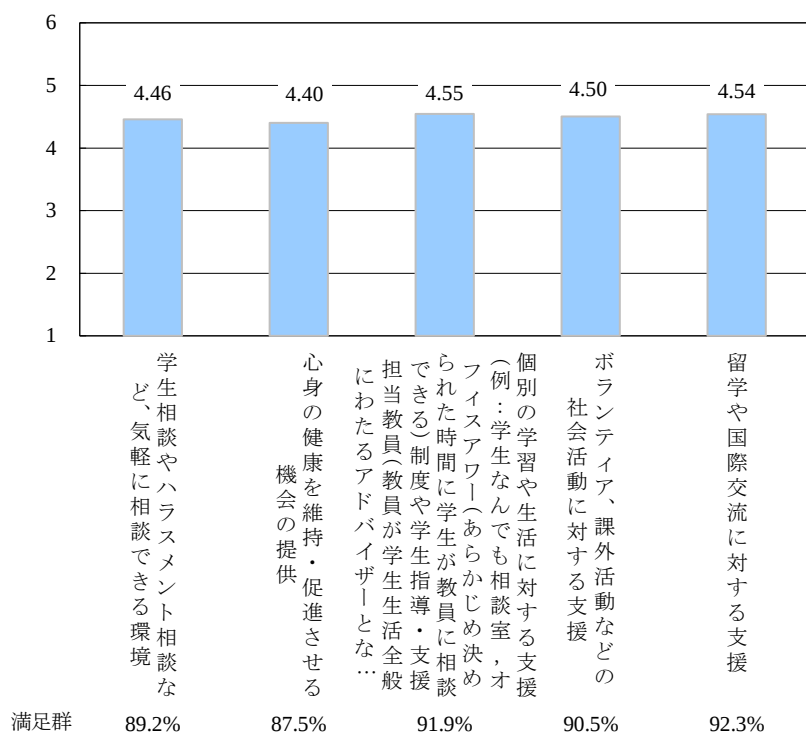


図6 学生サポートについての満足度（学部生）

3. 7 授業についての満足度

すべての項目において平均点が4（やや満足）を上回っていた。満足群の割合もすべてが 80%を超えていた。

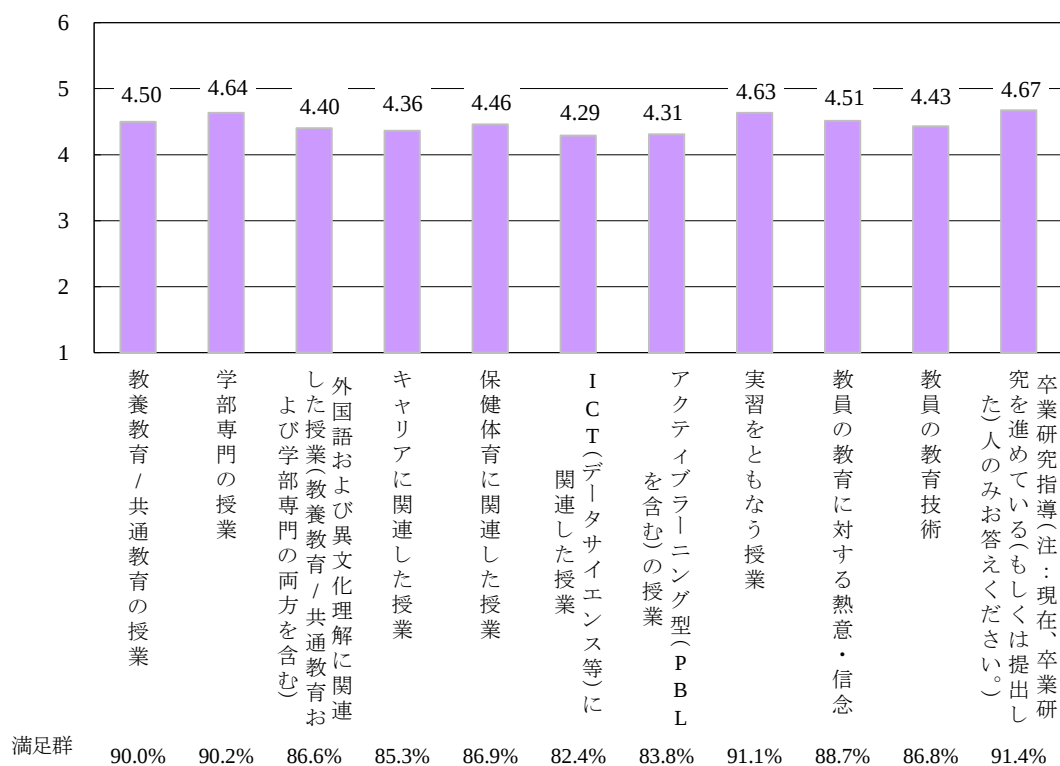


図 7 授業についての満足度 (学部生)

第Ⅱ部 大学院生対象

1. 調査目的（p1を参照）

2. 調査概要

- (1) 調査対象 三重大学大学院に在籍する全ての大学院生 1,217名
- (2) 調査時期 令和5年12月～令和6年1月
- (3) 調査方法 三重大学ウェブ調査システムによる調査
- (4) 分析対象者 370名（30.4%）
回収したデータのなかから、修士/博士前期課程の在籍年数が3年目以上の学生と博士/博士後期課程の在籍年数が4年目以上の学生を分析対象から除外した。

表2 分析対象者数（大学院生）

	人 文 社 会 学	生 物 資 源 学	生 物 資 源 学	生 物 資 源 学	生 物 資 源 学	シ 域 イ ン フ ノ ベ ー ス	合 計
修士/博士前期	13	26	19	112	81	18	269
博士/博士後期	0	0	31	27	25	18	101
合計	13	26	50	139	106	36	370

3. 結果

三重大学大学院の教育に関する 22 項目について平均値と満足群を算出した（算出方法は p1 を参照）。

3.1 大学院全般についての満足度

すべての項目において平均点が 4（やや満足）を上回っており、「④事務職員の窓口での学生対応」については、博士/博士後期課程の学生については平均点が 5（満足）を上回っていた。満足群の割合もすべてが 85%を超えていた。

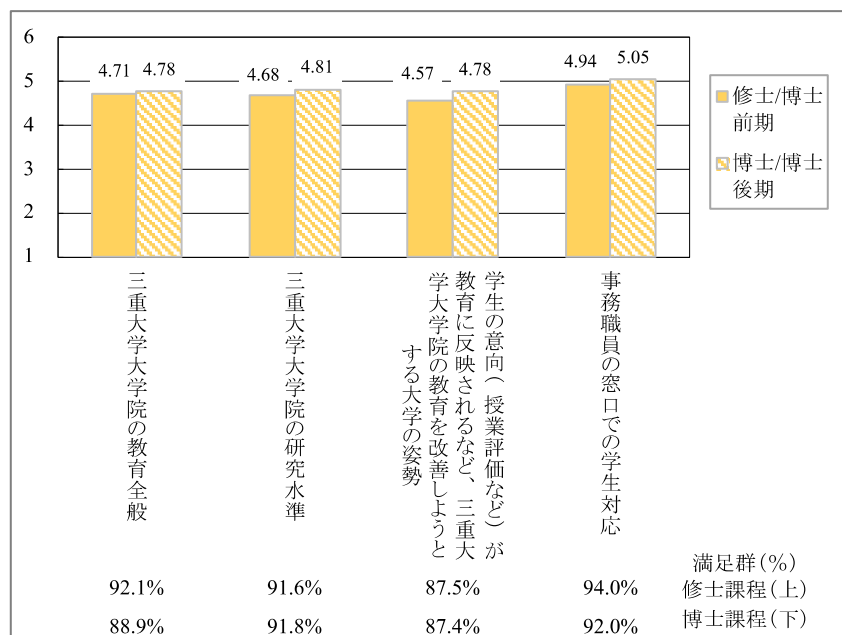


図 8 大学院全般についての満足度（大学院生）

3.2 大学院の教育についての満足度

すべての項目において平均点が4（やや満足）を上回っており、博士/博士後期課程の学生については「⑧最先端の研究や高度専門知識の教授」「⑩日常的な研究指導」「⑪学位論文指導」については、平均点が5（満足）を上回っていた。満足群の割合もすべてが85%を超えていた。

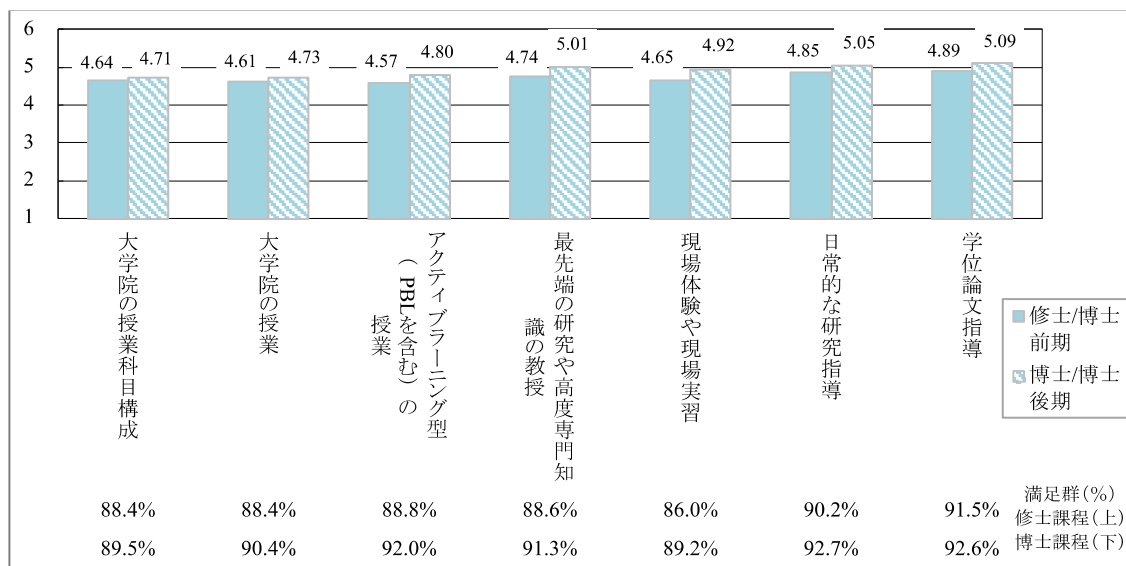


図9 大学院の教育についての満足度（大学院生）

3.3 研究環境についての満足度

すべての項目において平均点が4（やや満足）を上回っていた。しかし、満足群の割合については、博士/博士後期課程において「⑬研究に必要な電子情報（図書・論文雑誌・データベース等）の充実」が80%を下回った。

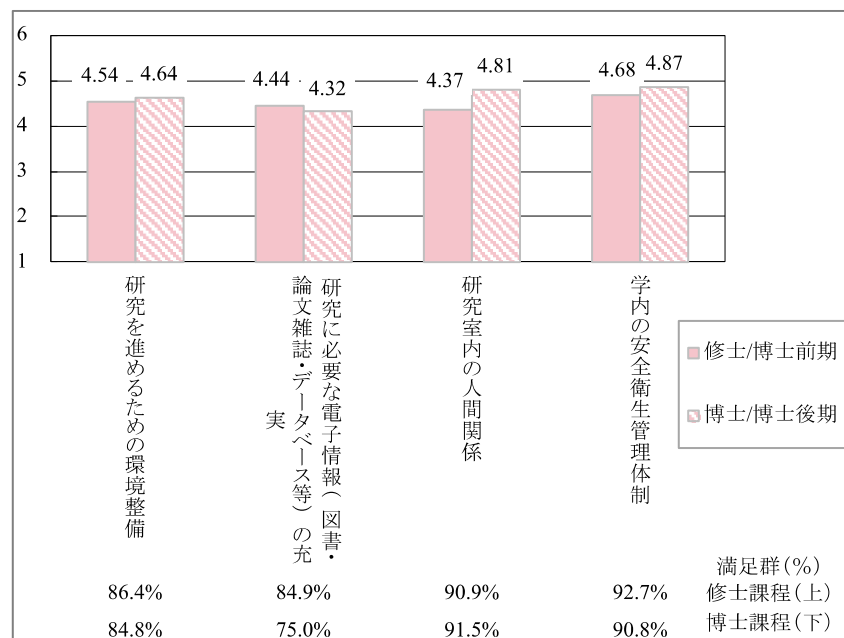


図10 研究環境についての満足度（大学院生）

3.4 学生サポートについての満足度

すべての項目において平均点が4（やや満足）を上回っていた。満足群の割合は、修士/博士前期課程において「⑬博士課程への進学に役立つ情報提供」の項目は80%を下回った。また、修士/博士前期課程の「⑬資格や免許を取得することに対する大学の支援」および博士/博士後期課程の「⑬博士課程への進学に役立つ情報提供」の項目については割合が低い傾向にあった。

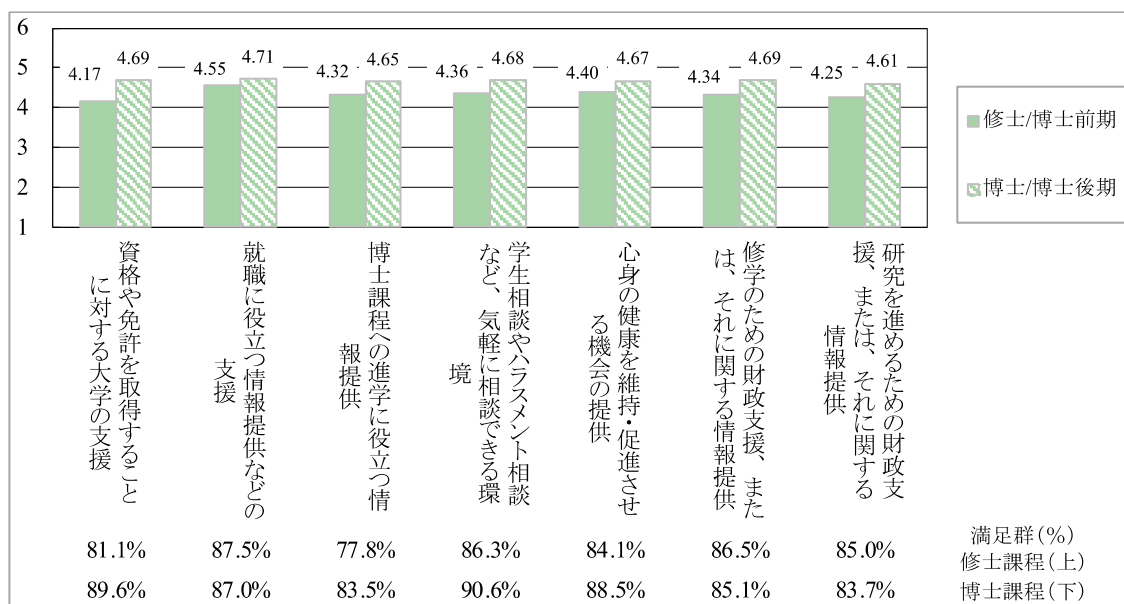


図 11 学生サポートについての満足度（大学院生）

付録 1 令和 5 年度全学部生の満足度平均値及び満足群の割合

カテゴリ	項目	平均値	標準偏差	満足群
全般	三重大学の教育全般について	4.61	0.83	91.8%
	三重大学の研究水準について	4.67	0.79	94.4%
	学生の意向（授業評価など）が授業に反映されるなど、三重大学の教育を改善しようとする大学の姿勢	4.45	0.96	86.3%
	事務職員の窓口での学生対応	4.74	0.97	91.7%
授業	教養教育/共通教育の授業	4.50	0.87	90.0%
	学部専門の授業	4.64	0.91	90.2%
	外国語および異文化理解に関連した授業（教養教育/共通教育および学部専門の両方を含む）	4.40	0.95	86.6%
	キャリアに関連した授業	4.36	0.95	85.3%
	保健体育に関連した授業	4.46	1.02	86.9%
	ICT（データサイエンス等）に関連した授業	4.29	1.02	82.4%
	アクティブラーニング型（PBLを含む）の授業	4.31	1.02	83.8%
	実習をともなう授業	4.63	0.94	91.1%
	教員の教育に対する熱意・信念	4.51	0.95	88.7%
	教員の教育技術	4.43	1.01	86.8%
	卒業研究指導（注：現在、卒業研究を進めている（もしくは提出した）人のみお答えください。）	4.67	0.97	91.4%
評価・カリキュラム	履修計画に役立つ適切なガイダンス	4.19	1.08	78.0%
	シラバスの有用性	4.21	1.04	79.0%
	受講したい授業が受けられるシステム	4.37	1.04	82.6%
	成績評価方法の明確さ	4.33	1.02	82.5%
	教養教育/共通教育のカリキュラム（教育課程）	4.49	0.88	90.9%
	自分の所属する学部（学科等）のカリキュラム（教育課程）	4.50	0.94	88.1%
学習環境	自己学習（主体的学習）ができる環境	4.59	0.96	90.2%
	大学内で自由に使える情報機器の充実	4.44	1.02	84.9%
	学習に必要な図書・論文雑誌・データベース等の電子情報の充実	4.60	0.96	89.9%
	視聴覚機器などの教室内の教育設備	4.49	0.92	88.8%
	実験設備・器具や共同利用機器などの教室内の教育設備	4.52	0.95	89.5%
	教室の広さや照明などの環境	4.57	1.00	88.6%
	学内の課外活動関連施設	4.51	0.99	88.9%
	学内の安全衛生管理体制	4.51	0.96	88.6%
	キャンパスの案内表示	4.54	0.92	89.4%
	駐輪場の設置場所や設置数	4.40	1.11	82.0%
	職業意識を高めるための教育的支援や就職に役立つような学習に対する支援	4.47	0.93	88.2%
進路支援	就職活動に役立つ就職情報提供	4.46	0.94	87.9%
	資格や免許を取得することに対する支援	4.35	0.99	82.1%
	大学院進学に役立つ教育の提供	4.25	1.04	81.1%
	現場体験実習やインターンシップの機会の提供	4.50	0.96	88.6%
	学生相談やハラスメント相談など、気軽に相談できる環境	4.46	0.91	89.2%
学生サポート	心身の健康を維持・促進させる機会の提供	4.40	0.94	87.5%
	個別の学習や生活に対する支援（例：学生なんでも相談室、オフィスアワー（あらかじめ決められた時間に学生が教員に相談できる）制度や学生指導・支援担当教員（教員が学生生活全般にわたるアドバイザーとなる）制度など）	4.55	0.88	91.9%
	ボランティア、課外活動などの社会活動に対する支援	4.50	0.87	90.5%
	留学や国際交流に対する支援	4.54	0.87	92.3%
	休講情報を迅速に学生に伝達するシステム	4.03	1.19	69.4%
提情報	ホームページ、SNSなどによる大学の教育・研究活動の情報提供	4.32	0.97	84.2%

※満足群は、6段階のうち「4. やや満足」「5. 満足」「6. 非常に満足」と回答した学生の割合を足したものである。

付録2 令和5年度全大学院生の満足度平均値及び満足群の割合

カテゴリ	項目	修士課程・博士前期課程			博士課程・博士後期課程		
		平均値	標準偏差	満足群(%)	平均値	標準偏差	満足群(%)
大学全般	三重大学大学院の教育全般	4.71	0.92	92.1%	4.78	1.16	88.9%
	三重大学大学院の研究水準	4.68	0.97	91.6%	4.81	1.15	91.8%
	学生の意向(授業評価など)が教育に反映されるなど、三重大学大学院の教育を改善しようとする大学の姿勢	4.57	1.07	87.5%	4.78	1.23	87.4%
	事務職員の窓口での学生対応	4.94	0.97	94.0%	5.05	1.13	92.0%
大学院の教育	大学院の授業科目構成	4.64	1.04	88.4%	4.71	1.06	89.5%
	大学院の授業	4.61	1.02	88.4%	4.73	1.06	90.4%
	アクティブラーニング型(PBLを含む)の授業	4.57	0.99	88.8%	4.80	1.04	92.0%
	最先端の研究や高度専門知識の教授	4.74	1.04	88.6%	5.01	1.09	91.3%
	現場体験や現場実習	4.65	1.11	86.0%	4.92	1.10	89.2%
	日常的な研究指導	4.85	1.19	90.2%	5.05	1.09	92.7%
	学位論文指導	4.89	1.12	91.5%	5.09	1.12	92.6%
研究環境	研究を進めるための環境、研究設備(ICT環境、実験設備等)	4.60	1.18	86.4%	4.64	1.23	84.8%
	13 研究に必要な電子情報(図書・論文雑誌・データベース等)の充実	4.54	1.13	84.9%	4.32	1.46	75.0%
	研究室内の人間関係	4.89	1.12	90.9%	4.81	1.10	91.5%
	学内の安全衛生管理体制	4.74	0.95	92.7%	4.87	1.08	90.8%
学生サポート	資格や免許を取得することに対する大学の支援	4.38	1.16	81.1%	4.69	1.05	89.6%
	就職に役立つ情報提供などの支援	4.59	1.06	87.5%	4.71	1.09	87.0%
	博士課程への進学に役立つ情報提供	4.26	1.21	77.8%	4.65	1.26	83.5%
	学生相談やハラスメント相談など、気軽に相談できる環境	4.43	1.19	86.3%	4.68	1.12	90.6%
	心身の健康を維持・促進させる機会の提供	4.44	1.17	84.1%	4.67	1.16	88.5%
	修学のための財政支援、または、それに関する情報提供	4.58	1.19	86.5%	4.69	1.37	85.1%
	研究を進めるための財政支援(奨学金制度等)	4.43	1.24	85.0%	4.61	1.36	83.7%

※ 満足群は、6段階のうち、「4:やや満足」「5:満足」「6:非常に満足」と回答した学生の割合を足したものである。